

③社会人基礎評価票の集約結果

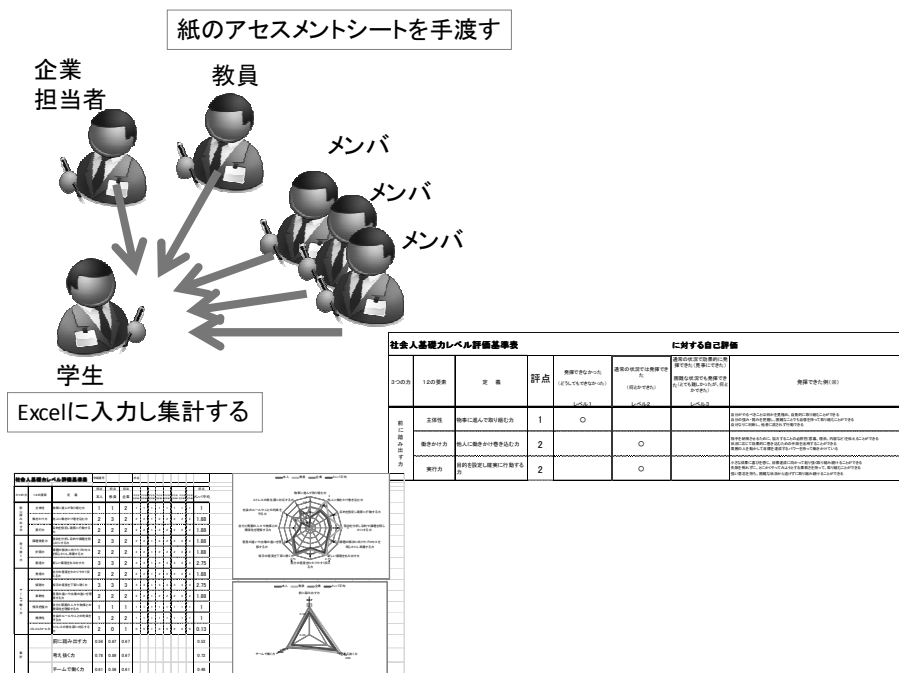
社会人基礎評価票の集約結果

1. 学生の「育成すべき資質（社会人基礎力）」向上についての評価

現段階の学生に社会人基礎力の評価を経産省が提供している評価シートで行う。多面的な評価を行うために、学生の自己評価に加えて、学生間の相互評価、指導教員の評価、協力企業担当者の評価の4つの評価者で評価し、その対比を行う。

そのために、該当学生に対する評価を、学生自身、教員、協力企業、プロジェクトメンバーが紙にチェックして本人に渡す。受け取った学生は、配布されるエクセルファイルに入力し、集計シートを印刷する。これを学生へのフィードバックとする。

なお、企業側の負担、プロジェクト内の人間関係など、アセスメントを実施することが実際上困難な場合は、指導担当者の裁量で、実施の可否を決定してよいこととする。この場合、その旨を取りまとめ者に回答することとする。



2. 学生と教員の面談による気づきの促進

学生の社会人基礎力に関するまとめを基本データとして、学生・教員間で評価結果を共有する。評価者（学生自身、教員、企業担当者、メンバ相互評価）によって評価に差がある点について、なぜそのように差が生じたかについての考察を学生に行わせ、今後の行動指針を考察させる。そして、今後の行動指針を学生個人にまとめさせる。教員は、その作業について適宜助言を与える。

3. 集計結果

評価結果を全体で集約した結果を以下に示す。教員と本人の評点平均の差や、メンバーと本人の評点平均の差を図にまとめる。マイナス値担っているのは、本人評価が周囲の評価より低く自己評価していることである。

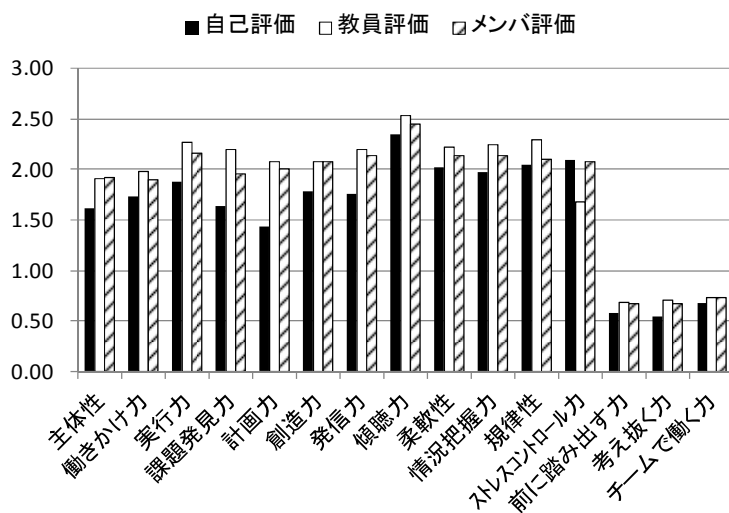


図 社会人基礎力評価における各能力の平均評点

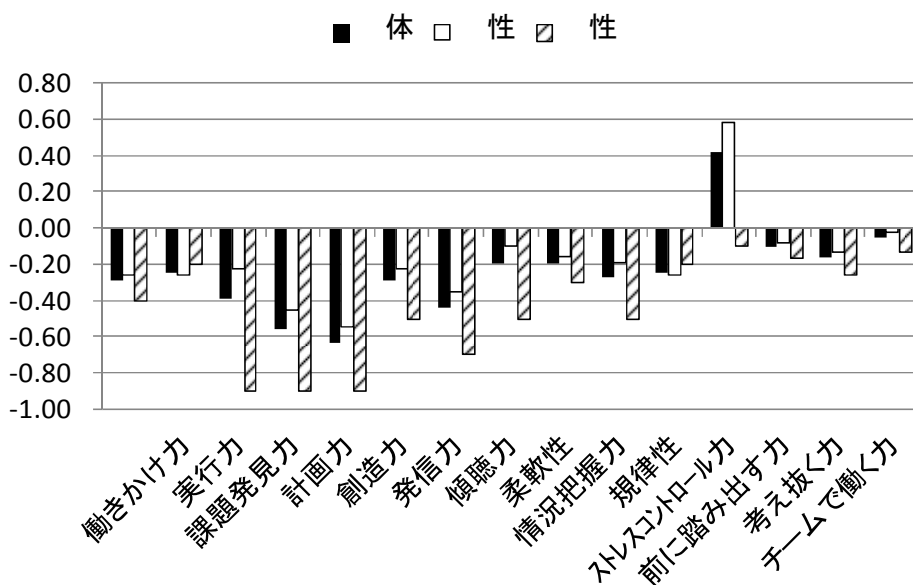


図 社会人基礎力評価における教員評価と本人評価の評点の差

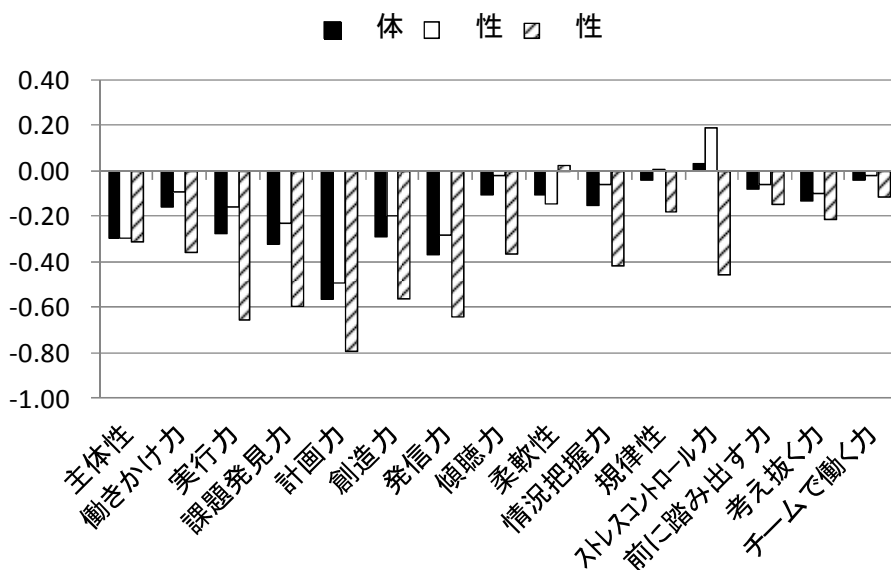


図 社会人基礎力評価におけるメンバ評価と本人評価の評点の差